

モーター・ライティング&センシング (MLS)

ポートフォリオの拡充により
新たな事業領域を開拓し、
長期安定的な成長へ

執行役員
モーター・ライティング&センシング
事業本部長
志村 宇洋



コア・コンピタンス

超精密加工、垂直統合、グローバル展開、大量生産といった当社のDNAに加え、センサー、光学、磁気などエレクトロニクス分野のコア技術を融合し、モーター、LEDバックライト、レゾナントデバイス、センサー、計測機器などを展開。厳しい品質特性が要求される自動車向けや、短期間での品質・数量を両立した垂直立ち上げが要求されるモバイル向けなど、広範な市場に製品を展開。生産の自動化／半自動化や従業員の教育訓練の整備など、顧客要求に応じたダイナミックな拠点体制も競争力の源泉となっています。



浜松工場

機会

- 省エネルギーや静音化に貢献する小型で精密なモーターの需要増加。
- EV、AI・ビッグデータなど成長分野に関連するモーターの参入機会が拡大。
- LEDバックライトの用途拡大。(車載、タブレット)
- レゾナントデバイスをはじめとする新規市場の形成。

リスク

- 中国における低コストな競合メーカーの台頭。
- 原材料および部品価格の高騰による収益構造への影響。
- 新技術による既存技術の代替が想定以上のスピードで進展。(HDD 市場、スマートフォン市場)

機会とリスクへの対応

- 原材料および部品価格の高騰を受けた売価の是正。
- 成長市場では注力分野での需要増に対応し拡販。
- 成熟市場では設計変更や材料費低減を含めたコスト削減等で競争力を強化。
- 相合による強みをいかし他社に先行した製品開発により事業機会を獲得。

2023年3月期の概要

モーターはHDD向けスピンドルモーターの減速はあったものの、自動車向けを中心としたその他のモーターが堅調に推移したことにより、増収となりました。LEDバックライトは減収、センシングデバイスは増収となりました。この結果、売上高は3,663億円、営業利益9億円、営業利益率は0.3%となりました。

※特殊要因を除いた営業利益118億円、営業利益率3.2%

2024年3月期の見通し

モーターは、自動車向けの拡大と、HDD向けも不透明な状態ではあるものの下半期からの回復を想定して、増収増益を見込んでいます。エレクトロデバイスでは、売上高はほぼ横ばい、若干の減益を見込んでいます。センシングデバイスは、売上高・営業利益ともにほぼ横ばいを見込んでいます。

中期事業計画

モーターを収益の柱として 成長が加速

主なポイント

- 1 モーター
HVAC, LiDAR, アクチュエーター等の
車載モーターのトップライン成長が
収益性を一段と引き上げる
- 2 電子デバイス
レゾナントデバイスの収益寄与と
バックライト事業の構造転換
- 3 センシングデバイス
2次電池やワクチンの製造設備向け
センサー製品の需要拡大

次の10年を見据えた基本戦略

MLSでは、コア事業であるモーターおよびセンサーの基盤を強化していきます。技術変化が速く収益機会の大きいサブコア事業においては、徹底的な固定費低減、事業リスクの適切な見極めに取り組むとともに、成長機会を逃さず利益を最大化することでコア事業を成長させていきます。

長期安定的な成長に向けて、ポートフォリオの拡充や他の8本槍製品との相合による新たな事業領域の開拓をおこないます。

『「相合力」でオンリーワンを目指す』戦略

自動車の電動化、快適性のニーズが高まるなかで、当社のHVAC (Heat Ventilation and Air Conditioning)、AGA (Active Grill shutter Actuator) などのエアコン制御、空力、電池熱マネジメントに対応する小型・精密アクチュエーターの需要が高まっています。AGAはフロントグリル部分の開閉部に使用され、効率的な空気の流れに貢献して燃費を改善するだけでなく、ブレーキを踏む際にフロントグリルを開閉することで制動距離を短めエアロダイナミクスの改善にも貢献することが可能であり、さまざまな付加価値が生まれています。また、電動化の推進により車一台あたりのモーターの搭載数も増えています。モーター、ベアリング、部品工機部門などと相合することで、仕様に合致した内製製品を開発しています。モーターシステムに内製製品を実装することで特性・付加価値の向上、製造コスト削減を実現して、モーターの競争力を向上しています。引き続き、ニッチ分野で高シェアを獲得し、新たな収益ドライバーを生み出してまいります。



社会的課題を解決するソリューション創出

微小な製品の荷重を高精度に検出するひずみゲージを中核とするミネベアミツミのセンシング製品は、幅広い用途で使用されており、EV、医療など、社会課題解決に貢献しています。

リチウムイオン電池用計量システム

自動車・オートバイEV化促進に向けたリチウムイオン電池の大幅増産

自動車やオートバイのEV化に必要なリチウムイオン電池の製造工程において、高精度なロードセルとデジタル指示計を組み合わせたシステムにより、正確な原料計量と適正な混合比率を実現します。リチウムイオン電池製造における原材料の適正利用と品質確保を下支えしています。

人工透析装置用圧力センサー

透析装置の操作性能・安全性能を向上

透析患者の増加に伴い、操作性、高い安全性能が透析装置に求められているなかで、自動化および、モニターシステム対応するためのセンサーも高精度化が必須となっています。当社の圧力センサーは、高い耐食性を保有し、さらに、デジタルインターフェースを採用し高機能化を達成しています。



ロードセル・デジタル指示計

圧力センサー